

中高合同清掃

10月5日(水) 毎年恒例となった「中高合同清掃」では、今年は通学路のほかに、台風の影響の関係で例年と場所を変え、黄金道路入口付近の海岸を清掃しました。各グループでは高校生が班長となり、指示を出しながら清掃活動をし、地域の美化向上に努めました。

～広尾中学校 2A 古関 杏菜さん～

◆私の清掃した場所は以前よりもきれいになっていて、きっと地域の方々がボランティアなどで清掃してくれたのだなと思いました。清掃を始める前はきっと台風の影響もあり、ごみが多いと思ったので驚きました。一人一人が細かいごみなどをしっかり拾い町をきれいにできたので、またこのような機会があれば更に広尾町をきれいにしていきたいと思います。



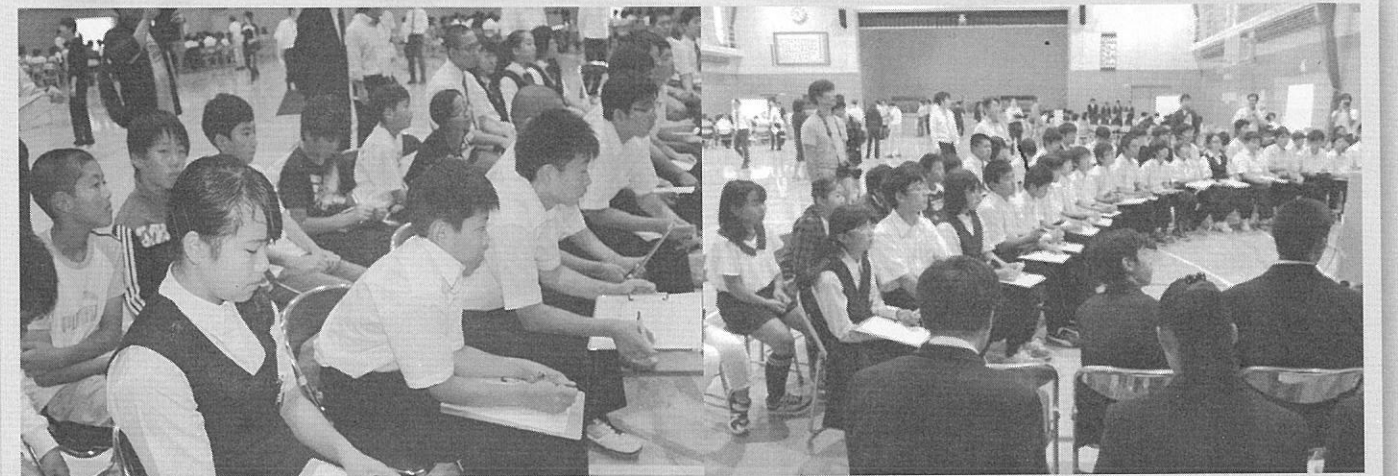
中高一貫教育だより

広尾の子どもは広尾で育てる

No. 46
Jan. 2017

《発行者》広尾町中高一貫教育推進委員会

広尾高校インターンシップ発表会



仕事から学ぶ

8月22日(月) 広尾高校で広尾高校の2年生が自ら体験した職業体験を、広尾中(2年生56名)・豊似中(1, 2年生16名) 広尾小学校(6年生57名)が視聴し、質疑応答などの活動を通して望ましい職業観や職業体験学習への意欲を高めました。

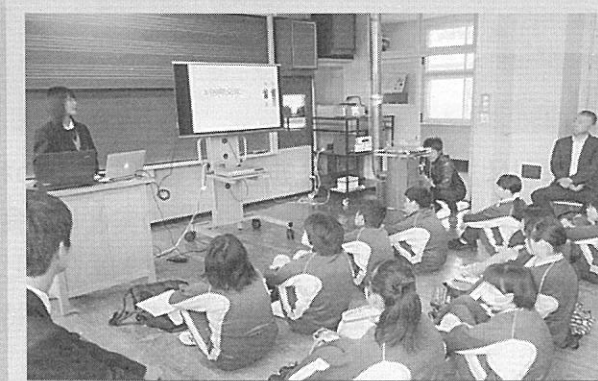
今回は、第1ブースが広尾漁業協同組合、ブティック・オックス、広尾町役場企画課ふれあいの係、第2ブースが陸上自衛隊帯広駐屯地、広尾町立ひろお幼稚園、第3ブースが十勝広域消防局・広尾消防署、小田呉服店、広尾町立養護老人ホームかもめ、第4ブースがひろお町国民健康保険病院、広尾町社会福祉協議会通所介護事業所の職業体験発表がおこなわれました。中学生からは、インターンシップを通してどのような事を学んだのかを詳しく質問していました。

中高かたりば

7月26日(火) 豊似中学校で、中高かたり場が開催されました。高校生から、進路や勉強の話を輪になって語り合い。希望進路実現のために、どのように取り組むかなどを交流することができました。

～豊似中学校 3年 岡本 朱音さん～

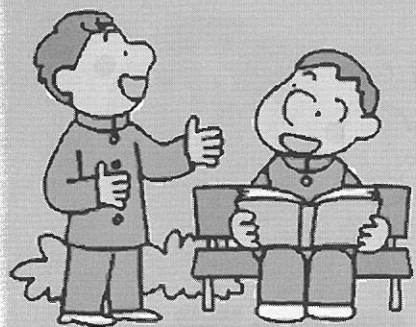
◆高校生から話を聞き、自分が将来希望する進路を実現するためには、目標をしっかり持ち、日々の努力をしなければならないと感じました。いろいろな話を聞くことができて良かったです。ありがとうございました。



◆豊似中学校 2年 内山泰人君
インターンシップを通じ、自分が次回体験するときに職業を選択する参考になりました。また、高校生の体験談から働くことの大切さや、その職業につくために必要なことなども知ることができ、とても良かったです。

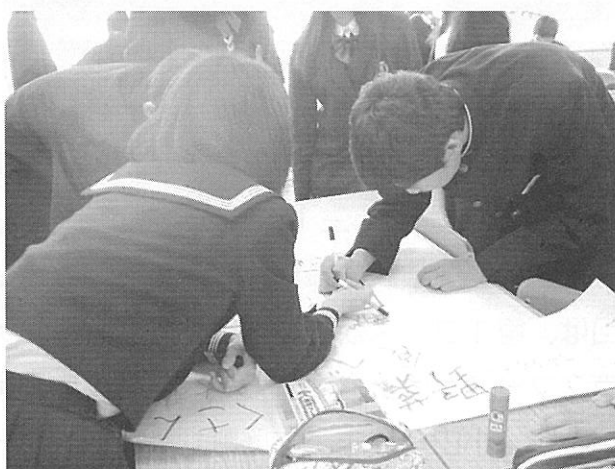
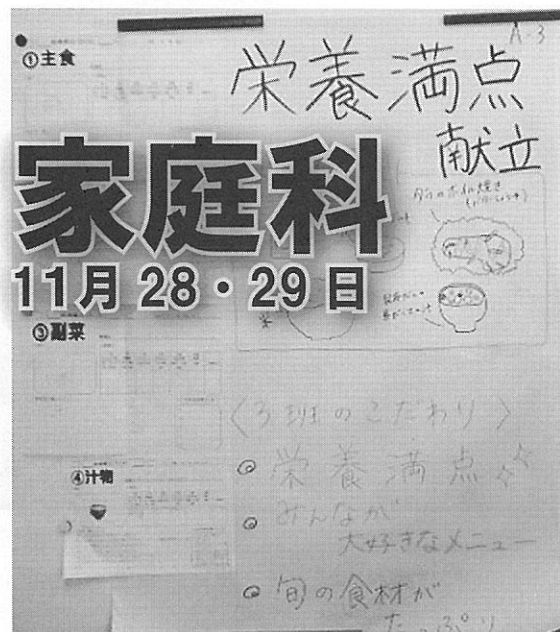
◆豊似中学校 2年 今井友希さん
今回の発表会は、自分が将来行く職業体験の参考になりました。目的をしっかりと準備をしっかりとしていけば、より実りのある体験になることがわかりました。ありがとうございました。





SCC(Secondary Collaborated Class) の記録

「SCC」は、中高の乗り入れ授業のことです。「S」は「Secondary」で「中等教育」、「C」は「Collaborated」で、「協力し合う」、もうひとつの「C」は「Class」で「授業」の意味です。つまり、「中高で協力し合い、授業を作る」という意味です。今回は家庭科と国語科、理科の授業を紹介します。

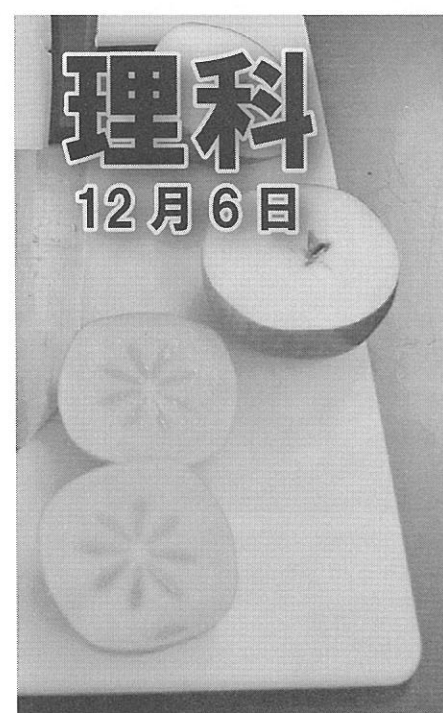


SCC家庭科は、11月28～29日に広尾高校でおこなわれました。広尾高校の浜地先生、広尾中学校の兼重先生、豊似中学校の大内先生が主体となり、広尾小学校の川本先生も栄養教諭としてのアドバイスをし、広尾で採れたタラと昆布を素材とする献立を中高合同で意見を出し合い、決めていく授業を行いました。各班で考えられたメニューは、生徒とSCCに参加した教諭の投票で決められ、3月10日、実際に給食で提供される予定です。漁組や給食センターにも協力していただく町ぐるみの企画となりました。

最初、高校生を前にして緊張していた中学生でしたが、積極的な高校生のリードにより少しずつ打ち解け、発言できるようになりました。中学生も高校生も、自分が考えてきた献立が班の案として採用され、うれしそうに喜ぶ姿が見られました。献立は、味の好みはもちろん、栄養面、見た目、旬の食材などについても検討し、各班で考えた献立を模造紙にまとめ、あっという間の2時間の授業でした。



SCC国語科は、11月30日に広尾中学校でおこなわれました。広尾高校の本村先生が、昨年に引き続き3年生に作文の工夫についての授業をしました。2年目の今年は、中学校で取り組む「作文」と高校で取り組む「小論文」の違いについて、「明確にできる根拠があるか」という視点で学びました。主張を確実に伝えるために必要な5つの要素をもとに、生徒たちは真剣な表情で演習に取り組んでいました。



SCC理科は、12月6日に広尾中学校でおこなわれました。広尾高校の水上先生と太田先生が、花のつくりについての授業と実習を行いました。果物の実として食べている部分が、リンゴの場合、花托（かたく）という茎の一部が変化したものだという衝撃の事実を学びました。実際に果物を切る場面では、柿とリンゴを縦と横に切った断面の違いを観察し、最後は身近な果実に興味を持った1時間となりました。